

変更認可申請の主な内容について

別添

	建屋名	申請項目	申請内容
1	精製建屋	ウラナス製造工程の運転性向上	精製建屋ウラン精製設備のウラナス ¹ 製造工程において、ウラナス製造器への水素ガス供給量を増加させることで硝酸ウラナスの収率向上が図られること、及び運転開始から平衡運転に達するまでの間は未反応水素ガスが多量に洗浄塔へ流れ込むことを、仏国先行プラントの運転情報より得たことから、水素ガス供給量を頻りに調整する運転を行う必要もなく、供給する全ての水素ガスが洗浄塔に流れ込んだ場合でも可燃限界濃度未満に希釈できるよう、洗浄塔へ供給する希釈用圧縮空気流量を増加させるとともに、関連設備の改造を行う。
2	精製建屋	プルトニウム濃縮液ポンプの流量調整に係る吐出配管の口径変更	精製建屋のプルトニウム精製設備に設置しているプルトニウム濃縮液ポンプにおいて、試験運転の結果、ポンプ吐出流量が設計流量を上回ることを確認したことから、ポンプ吐出側の配管を小口径に変更してポンプ吐出流量を適正な使用範囲に調整する。
3	精製建屋	ウラン精製設備から第8一時貯留処理槽への溶液流入対策	精製建屋のウラン精製設備において、ウラン濃縮缶供給槽からウラン濃縮缶へ供給する硝酸ウラニル溶液の一部が、硝酸ウラニル溶液供給配管内で発生するエアリフト現象 ² によって、精製建屋一時貯留処理設備の第8一時貯留処理槽へ流入する事象が発生したことから、エアリフト現象が生じないように硝酸ウラニル溶液供給配管、純水供給配管及びベント配管の配管口径の変更等を行う。
4	分離建屋	溶解液供給槽ゲデオンブライミングポットの配管ルート変更	分離建屋の分離設備に設置している、溶解液を抽出塔へ供給するためのゲデオンブライミングポット ⁴ において、同ポットに供給している溶解液と試薬の密度差により、同ポット出口配管からの流量が変動し、流量高警報で上流に設置するゲデオン ³ が停止する事象が発生したことから、流量を安定させるために同ポット上部に接続している試薬供給配管をゲデオンブライミングポット下流の配管に移設する。
5	分析建屋	洗濯廃液ろ過装置の追設	洗濯廃液処理設備の洗濯廃液ろ過装置は現在1基であり、定期点検等により停止中は廃液処理ができないため、ろ過装置1基が停止中であっても洗濯廃液の処理が行えるよう、ろ過装置等を追設する。
6	ウラン脱硝建屋	新NOx製造設備の性能向上	ウラン脱硝建屋の化学薬品貯蔵供給系において、脱硝廃ガスから回収できる窒素酸化物の回収量と、各建屋での窒素酸化物の最大使用量が同程度であり、窒素酸化物を貯留するための余剰分が確保できない場合があることから、脱硝廃ガスの温度を高くして窒素酸化物の回収量がより多くなるよう配管にヒータ及び保温材を設置するとともに、関連設備の使用温度条件を高くする。

1 ウラナス：硝酸ウラニルの水素による還元により得られる還元剤であり、再処理工場ではプルトニウムの還元用いる

2 エアリフト現象：配管中の気泡（空気）が上昇する力により、液体を押し上げる現象

3 ゲデオン：真空により液を吸い上げた後、重力により液を移送する機器であり、真空度を調整することで流量の調整が可能となる

4 ゲデオンブライミングポット：ゲデオンによる液の吸い上げを開始するためには、移送元、ゲデオンおよび移送先のラインを真空に維持する必要がある。移送先であるゲデオンブライミングポットは真空を維持するために液で満たされ、ゲデオンからの配管は浸液した構造となっている